

MakeX SPARK + mBot大運動会2020 オンライン講座 「MakeXへの道」

MakeX内のmBotを使った競技、STARTERについては
9月の開催を中止とします。

※新型コロナウイルス（COVID-19）の感染が拡大している状況を踏まえ、
諸般の事情を考慮し現在STARTERの開催を見合わせております。

開催時期につきましては現時点で未定です。

※SPARKは予定通り開催します。

そこで、みんなで身の回りにあるものを使って競技を考え運動会を企画しよう！

9月にみんなが集まって、楽しい大会が開催できるように、
今僕たちにできることを3か月間を通して考えて行こう！

■講座目標

- ①MakeXのSPARKの競技のアイデアを探求する
- ②Makeblock社のmBotを使った運動会をSDGsの17項目を題材に企画する
- ③9月のMakeXや運動会に向けて、様々な学びをオンライン講座から習得する

■参加費

無料（受講に必要な機材や素材の準備は、参加者にてご用意ください。）

■募集人数

100名

■応募申し込み

Googleフォームからお申し込み（募集期間：2020年6月1日～18日 定員になり次第締切）

お申し込みはこちら→ <https://00m.in/34p0o>

※お申し込み後、担当者より送信する参加規約承諾書のご提出をお願いします。必要事項の確認が全て揃った方から参加資格をお渡しします。お申し込みの過程で、内容確認等のためにご連絡をさせて頂く場合があります。

■参加条件

小学校4年生～中学2年生

※ZOOMオンライン授業にご参加いただく生徒を募集します。お申し込み後、問題なく参加可能か厳選させていただきます。

※mBotを操作したことがある子を、毎週参加可能な子を優先します。

※YOUTUBEにて配信されるので、顔出し可能な方

※名前を下の名前を呼んで進行します。

※参加の際は、必ず[受講規約](#)を確認しお申込み下さい。お申込みいただいた時点で、受講規約にはご同意頂いたものとします。

■利用機材

オンライン授業はZOOMを使用します。WEBカメラやマイクなどは参加者をご用意ください。<https://zoom.us/>

Makeblock社のmBotを最低1台保有している事を推奨します。

■オンライン講座「MakeXへの道」(全12回)

開講：6月20日から9月4日までの毎週土曜日

時間：16:00～18:00 (45分×2コマ 休み時間有 授業は17:45終予定)

SDGsを基本とした、問題に取り組むゲームを子供たちと共に考え、みんなが家で平等に用意できるものから競技を考える。

1. 6月20日(土) アイデア発想法講座 新しいアイデアの出し方
2. 6月27日(土) アイデア発想法講座 前回のアイデア出しを踏まえて、フィードバック
3. 7月4日(土) ファブリケーション講座 Makeblock のレーザーカッターの活用
4. 7月11日(土) ファブリケーション講座 3Dティンカーキャドの使い方
5. 7月18日(土) プログラミング講座 mBotの基本操作の確認・プログラミングとは
6. 7月25日(土) ティンカリング講座 質量とエネルギー、物体が動くときに働く力
7. 8月1日(土) プログラミング講座 mBotのセンサーを使ったプログラミング
8. 8月8日(土) ティンカリング講座 頑丈な構造、ものを楽に持ち上げるには
9. 8月15日(土) プログラミング講座 mBotのエンジニアリングとプログラミング
10. 8月22日(土) ティンカリング講座 建物が崩れない理由、動きを変える仕組み
11. 8月29日(土) プログラミング講座 mBotのプログラミング応用
12. 9月04日(土) プレゼンテーション講座 自分のアイデアを伝える話し方

9月20日(日) MakeX SPARK決勝 mBot大運動会

※授業内容は状況に応じて、予定を変更する場合があります。

■講師

講座監修・進行講師 久木田寛直 (MakeX日本実行委員会会長)

アイデア発想法講師 日野富夫 (一般財団法人 ひらめき財団理事)

プログラミング講座講師 齊藤響 (世田谷ハツメイカー研究所講師)

ティンカリング講座監修 井口 IGZY (世田谷ファブラボ リペアラボ) その他...

■SDGsとは?

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。

SDGsは2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに世界中のみんなで達成する目標です。

1. 貧困を無くそう (お金の問題)

2. 飢餓をゼロに（食べ物の問題）
3. 全ての人に健康と福祉を（医療や環境の問題）
4. 質の高い教育（教育の問題）
5. ジェンダー平等を実現（性の問題）
6. 安全な水とトイレを（水質の問題）
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに（発電や給油問題）
8. 働きがいも経済成長も（労働や経済の問題）
9. 産業・技術革新の基盤を作ろう（技術の問題）
10. 人や国の不平等をなくす（国際社会の問題）
11. 住み続けられる街（循環する環境問題）
12. 作る責任・使う責任（エコやリサイクル問題）
13. 気候変動に具体的な対策を（環境問題）
14. 海の豊かさを守ろう（海の資源）
15. 陸の豊かさを守ろう（緑の資源）
16. 平和と公正を全ての人に（平等の問題）
17. パートナーシップで目標を達成しよう（助け合い）

■みんなで平等な競技を考えると？

- ・皆が平等に用意できるものを使う
- ・皆が平等に練習できる
- ・皆が平等に判断できる基準（ルール）を定める

競技性のある基準（ルール）の指標：

スピード（時間）、得点（量）、協力（コミュニケーション）、
美術（秩序）、技術（スキル）

容易に手に入れられるもの

ペットボトル、フタ、トイレットペーパーの芯、サランラップの芯、卵の容器、
空き缶、食パン留め具、鉛筆、単行本、カード、水、コイン、電池、輪ゴムなど

■協力

Makeblock Japan

アオバジャパンインターナショナルスクール

世田谷ハツメイカー研究所

TINKER BASE

テクキチ

Fly Nexia

Little HOPPER

世田谷ものづくり学校

ファブラボ世田谷

■後援

一般社団法人 日本産業技術教育学会

■協賛

駿台電子情報&ビジネス専門学校

じっとしていないで、今できることにチャレンジする姿勢を忘れないように！

主催：MakeX日本実行委員会